

## 事業所における自己評価結果

事業所名		あかとんぼ稲毛（児童発達支援）					
		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が活動室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	0%	利用者とワーカーが1対1になり介護しているところがよい。	改善点は声掛けを密にすること。
	2	利用定員や利用者の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	43%	14%	43%		医ケアに追われて活動がままならないことが多いので保育士や指導員を増やしてほしい。児発においてはPTやOTを配置してもらえると介入しやすい。職員配置を増やす。利用者数に対し職員数が少ない日があり、職員の休憩時間が十分に取れないため改善が必要だと考える。
	3	事業所内は利用者が主体的に過ごせるような工夫（配置・掲示等）がなされているか。また、事業所の設備等は障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	86%	14%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	0%		人工呼吸器の方もおり、空気清浄機や加湿器が既存の物では小さく乾燥してしまいがち。
	5	必要に応じて、利用者が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	71%	29%	0%		
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	57%	43%	0%		振り返りの時間の確保が必要
	7	利用者向け評価表により、家族等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	介護と看護のカードがなく助け合っている点はスムーズにサービス提供につながりよいと思う	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	0%	100%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	57%	29%	14%		研修の機会を増やす
適切 な 支 援 の 提 供	11	こども支援の事業においては、適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0%	0%	0%		
	12	個々の利用者に対してアセスメントを適切に行い、利用者や家族等のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	86%	14%	0%		必要な課題や分析など一人の利用者について職員皆で話し合う時間が十分ではない。
	13	個別支援計画を作成する際には、児発管・サビ管だけでなく、支援に関わる職員が共通理解の下で、利用者の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	71%	29%	0%		必要な課題や分析など一人の利用者について職員皆で話し合う時間が十分ではない。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%		
	15	利用者の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	57%	14%	29%		
	16	こども支援の事業においては、個別支援計画には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	57%	29%	14%		
	19	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	43%	43%	14%		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	57%	29%	14%		引っ張るリーダーが必要だし、各々の職員の自覚も必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	0%		内容の充実
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	71%	29%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その利用者の状況をよく理解した者が参画しているか。	0%	0%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	14%	14%		保護者からの意見のみで、周辺からの意見の吸い上げができていない。担当者会議などがあればいいと思う。
	26	子ども支援の事業においては、併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29%	43%	29%		
	27	子ども支援の事業においては、就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0%	0%	0%		
	28	子ども支援の事業においては、地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	0%	0%		
	29	子ども支援の事業においては、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14%	29%	57%		
	30	日頃から利用者の状況を家族と伝え合い、課題（発達状況・健康状態等）について共通理解を持っているか。	86%	14%	0%		家族によっては事業所側の意見を伝えると不快に感じている方もおりなかなか難しい。
保護者への説明等	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14%	57%	29%		
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0%	0%	0%		
	33	個別支援計画を作成する際には、利用者や家族の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%		
	34	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、家族から同意を得ているか。	0%	0%	0%		
	35	定期的に、家族等から悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	86%	14%	0%		
	36	父母の会の活動を支援することや、家族会等を開催する等により、家族同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	29%	57%	14%		父母会を作る相談されている
	37	利用者や家族等からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族等に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%	0%		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族等に対して発信しているか。	100%	0%	0%		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%		
	40	障害のある利用者や家族等との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%	57%	29%		

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	57%	43%	0%		訓練など十分には行えていない
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	0%		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認しているか。	100%	0%	0%		
	45	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	0%		
	46	子ども支援の事業においては、安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	71%	29%	0%		
	47	子ども支援の事業においては、子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	71%	29%	0%		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	86%	14%	0%		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族等に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	71%	29%	0%		

## 事業所における自己評価総括表

公表日：2025年 3月 日

○事業所名	あかとんぼ稲毛（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月26日		

### ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内で大人と子どもが共に過ごすことができたり、施設は複数の事業が併設されているため、就学児、成人、高齢者など多世代の交流が図れます。	イベントに高齢デイサービスの利用者に参加してもらい、また高齢デイサービスのイベントに参加するなど相互交流の機会を積極的に作っています。	交流の範囲を地域に広げられるよう地域の活動や行事に積極的に参加していきます。
2	定員が少人数で看護介護が隔たりなく一人一人に関わることが出来ます。また活動のスペースが十分に確保されており、集団での活動や歩行器での歩行練習が行え、休息の環境も整備されています。	日々の朝礼、朝の会で家庭での様子を共有し、夕礼で利用者の体調や日中の様子について共有・振り返りを行っています。	スペースをより有効活用できるようベッドの配置を工夫するなどレイアウトを見直し環境整備に取り組みます。なるべく多くの職員が情報共有をタイムリーに行えるよう、看護介護がそれぞれの情報を共有する場を職場会議以外にも設けます。
3	家族との連絡を密にとりながら、家庭での様子・健康状態の把握や困りごと・頼みごとを聞き取り、対応できるように取り組んでいます。	送迎時に交わした会話や電話・メールのやり取りから困りごとや頼みごとをキャッチできるよう気になることがあれば連絡を取るよう心がけています。	利用家族同士の情報交換が行えるよう家族会の開催やネットワークづくりに協力していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育士やリハビリ職の関わる頻度が少なく専門的な視点や支援が不足しています。医療的ケアの必要な利用者も多く、職員の経験もばらつきがあるため活動が活発に行えていません。	医療的ケアのあるご利用者においては看護師との関りが多くなりがちで支援員が積極的に関わりにくい状況が生じています。プログラムが固まっていないため計画的に進めることができていません。	保育士の確保とリハビリ専門職のアセスメントをプログラムに反映させ活動を充実させていきます。
2	生活介護と児童発達支援が同時に提供されており、同年代の児童が1～3名と少ない状況があります。事業所内外での同年代の交流が不足しています。	生活介護利用者は卒業がない上、事業所自体が少ないため1日の利用割合が多くなりやすく、児童発達支援の受け入れが少なくなっています。	生活介護のご利用を調整しながら児童発達支援の利用者を確保するため相談支援事業所への周知活動を行います。また既存利用者からの紹介をしてもらえるよう支援を充実させていきます。
3	それぞれの専門性を向上させるための研修受講が不足しているため支援の内容が単純化しやすくなっています。	知識や技術の不足から自信を持った支援が提供できておらず、非効率化にもつながっています。また意見交換・情報共有の時間が作れていないため個々の利用者への支援における議論が活発に行えていません。	看護介護それぞれの経験者から助言をもらいながら学びを深めていきます。また面談にて個々の目標設定を行うことで、課題を自覚し、計画的に研修受講を進めていきます。

## 2024年度 生活クラブ風の村あかとんぼ稲毛 児童発達支援利用者アンケート結果

アンケート実施期間：2024年12月16日～12月28日

回収数／配布数：3/7

回収率：43%

### 《環境・体制整備》

※下段の（ ）内は回答数です。

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	66.7% (2)	33.3% (1)	0% ( )	0% ( )
3	事業所内は子どもたちが主体的に過ごせるような工夫(配置・掲示等)がなされていると思いますか。また、事業所の設備等は障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
【「環境・体制整備」に関するご意見】					
・					

### 《適切な支援の提供》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	66.7% (2)	33.3% (1)	0% ( )	0% ( )
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	支援プログラムが未完成のため、今年度、当該項目については調査対象外としました。			

7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
8	個別支援計画は、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の各項目において必要で適切な目標と具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
10	事業所の活動プログラムは一定の目的を持って適切に行われ、こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせ、固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
11	事業所の利用者以外のこどもと活動する機会がありますか。	33.3% (1)	66.7% (2)	0% ( )	0% ( )
【「適切な支援の提供」に関するご意見】					
・もう少し児発の子達の1日の人数を増やしてほしい。歳が近い子達と触れ合いたいです。					

《保護者への説明等》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
13	個別支援計画を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33.3% (1)	0% ( )	66.7% (2)	0% ( )
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )

	と思いますか。				
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
18	保護者会・きょうだい向けイベントの開催等により、保護者同士・きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族支援・きょうだいへの支援がされていますか。	66.7% (2)	0% ( )	33.3% (1)	0% ( )
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )
【「保護者への説明等」に関するご意見】					
・					

《非常時等の対応》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓	100% (3)	0% ( )	0% ( )	0% ( )

	練が実施されていますか。				
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33.3% (1)	0% (0)	66.7% (2)	0% (0)
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100% (3)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	66.7% (2)	0% (0)	33.3% (1)	0% (0)
【「非常時等の対応」に関するご意見】					
.					

《満足度》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100% (3)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100% (3)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
29	事業所の支援に満足していますか。	66.7% (2)	0% (0)	33.3% (1)	0% (0)
【「満足度」に関するご意見】					
.					

《その他のご意見》

<p>・もう少し児発の子と触れ合いたいです。枠増やせませんか？生活介護枠が多い気がします。</p>
---